

平成23年1月期 第1四半期決算短信

平成22年5月25日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 タカショー

コード番号 7590 URL <http://takasho.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高岡 伸夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

(氏名) 寒川 浩

TEL 073-482-4128

四半期報告書提出予定日 平成22年6月4日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第1四半期の連結業績(平成22年1月21日～平成22年4月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第1四半期	3,379	△1.8	146	△6.2	153	△21.9	86	△38.2
22年1月期第1四半期	3,442	—	156	—	196	—	139	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年1月期第1四半期	10.19	—
22年1月期第1四半期	16.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年1月期第1四半期	11,102	4,198	37.7	494.08
22年1月期	9,322	4,206	45.1	496.05

(参考) 自己資本 23年1月期第1四半期 4,189百万円 22年1月期 4,206百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年1月期	—	0.00	—	14.00	14.00
23年1月期	—				
23年1月期(予想)		0.00	—	14.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年1月期の連結業績予想(平成22年1月21日～平成23年1月20日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	7,950	6.3	630	△0.3	620	△2.7	376	2.5	44.42
連結累計期間	13,604	6.6	678	16.8	643	10.0	396	33.5	46.74
通期									

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年1月期第1四半期 8,679,814株 22年1月期 8,679,814株

② 期末自己株式数 23年1月期第1四半期 199,864株 22年1月期 199,864株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 23年1月期第1四半期 8,479,950株 22年1月期第1四半期 8,480,010株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料の5ページをご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策や新興国の底堅い需要の継続により、穏やかながら回復基調を辿ってはいるものの、依然として雇用情勢や個人消費は厳しい状況で推移いたしました。

当社を取り巻くガーデニング業界におきましても、新設住宅着工数は引き続き低調に推移していることや、公共投資の抑制など取り巻く環境の改善が見られず、またホームセンター業界においても異常気象により例年に比べ春の立ち上がりが遅れ、さらに在庫調整による商流の鈍化など厳しい市場環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは、ガーデンは家での暮らしにおける5番目の部屋である「5thROOM」(フィフスルーム)を提唱し、新商品のラインアップ充実と市場への啓発活動に注力いたしました。また今期より夜の庭を演出する「光」について住む人の生活習慣や庭のスタイルに合わせて、目的・効果を的確に提案・施工することで庭の付加価値を高めることを目的に、庭に従事される業者を対象に研修を通じて認識を深める当社認定制度である「エクステリア&ガーデンライティング」マイスター制度を開始いたしました。

売上高につきまして、プロユース部門では、新設住宅着工数は低調に推移していることや公共投資の抑制など取り巻く環境の改善は見られなかったものの、建材関係の販売強化や、全国有力施工店を組織化した「リフォームガーデンクラブ」を初めとする施工店との取組みの効果により、前年同四半期と比べて増加いたしました。

ホームユース部門では、春の立ち上がりが遅れたことや会計制度の改正等により在庫圧縮が進められており新規導入が厳しい状況にあることから、前年同四半期と比べ減少いたしました。

売上総利益におきましては、売上高の減少に伴い前年同四半期と比べ減少いたしました。

営業利益におきましては、物流費において配送拠点の整理や在庫圧縮が進んだことにより、販売費及び一般管理費が減少したものの、売上高の減少に伴い前年同四半期と比べて減少いたしました。

経常利益におきましても、売上高の減少により前年同四半期と比べて減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間は売上高3,379,707千円(前年同四半期比1.8%減)、営業利益146,418千円(前年同四半期比6.2%減)、経常利益153,789千円(前年同四半期比21.9%減)、四半期純利益86,406千円(前年同四半期比38.2%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は11,102,187千円（前連結会計年度末と比べ1,779,579千円増）となりました。

流動資産においては、ガーデニングシーズン立ち上がりの売上増加に伴い受取手形及び売掛金が3,227,426千円（前連結会計年度末と比べ839,439千円増）となりました。また現金及び預金においては上半期の投資計画に基づき調達した資金が留保されたこと等により1,987,791千円（前連結会計年度末と比べ424,268千円増）となりました。

流動負債においては、販売に向けての商品調達が先行して行われることから支払手形及び買掛金が2,263,670千円（前連結会計年度末と比べ1,022,203千円増）となりました。

固定負債においては、投資計画に基づく資金の調達等により長期借入金が1,551,168千円（前連結会計年度末と比べ535,963千円増）となりました。

純資産においては、4,198,172千円（前連結会計年度末と比べ8,626千円減）となりました。これは四半期純利益が86,406千円あったものの、利益処分による配当金の支払いが118,719千円あったことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益の増加および長期借入金の増加等により前連結会計年度末に比べ424,268千円増加し、1,987,791千円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における営業活動による資金の減少は、170,427千円（前年同四半期は190,547千円の減少）となりました。これは主に、法人税等の支払額が285,905千円（前年同四半期は79,721千円）および売上債権の増加額846,941千円（前年同四半期は994,971千円の増加）があったものの、仕入債務の増加額1,037,444千円（前年同四半期は678,748千円の増加）があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における投資活動による資金の支出は、56,650千円（前年同四半期は6,808千円の支出）となりました。これ主に、有形固定資産の取得による支出49,947千円（前年同四半期は22,979千円の支出）があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結会計期間における財務活動による資金の収入は649,621千円（前年同四半期は118,893千円の収入）となりました。これは主に、設備投資計画に基づく調達を含む長期借入れによる収入964,953千円（前年同四半期は500,061千円の収入）があったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成22年3月5日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年4月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,987,791	1,563,523
受取手形及び売掛金	3,227,426	2,387,986
商品及び製品	2,084,133	1,803,318
仕掛品	303,129	107,657
原材料及び貯蔵品	229,145	357,648
繰延税金資産	132,167	141,656
その他	288,866	163,124
貸倒引当金	△26,750	△55,230
流動資産合計	8,225,911	6,469,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,574,008	1,600,996
土地	304,445	304,445
建設仮勘定	159,892	132,971
その他(純額)	95,946	90,036
有形固定資産合計	2,134,292	2,128,450
無形固定資産		
のれん	13,786	16,452
その他	83,498	80,198
無形固定資産合計	97,284	96,650
投資その他の資産		
投資有価証券	68,605	69,978
繰延税金資産	1,532	1,557
その他	587,224	570,731
貸倒引当金	△12,662	△14,445
投資その他の資産合計	644,699	627,821
固定資産合計	2,876,276	2,852,922
資産合計	11,102,187	9,322,608

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年4月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,263,670	1,241,467
短期借入金	1,276,657	1,200,578
1年内返済予定の長期借入金	1,018,026	882,100
未払法人税等	49,484	271,355
賞与引当金	107,860	44,181
その他	575,837	406,469
流動負債合計	5,291,537	4,046,153
固定負債		
長期借入金	1,551,168	1,015,205
退職給付引当金	4,975	5,055
繰延税金負債	29,818	33,537
その他	26,514	15,857
固定負債合計	1,612,477	1,069,655
負債合計	6,904,015	5,115,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	570,560	570,560
資本剰余金	593,383	593,383
利益剰余金	3,039,461	3,071,774
自己株式	△35,141	△35,141
株主資本合計	4,168,264	4,200,577
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	999	1,724
繰延ヘッジ損益	9,096	△4,419
為替換算調整勘定	11,392	8,602
評価・換算差額等合計	21,489	5,907
少数株主持分	8,418	313
純資産合計	4,198,172	4,206,798
負債純資産合計	11,102,187	9,322,608

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年4月20日)
売上高	3,442,776	3,379,707
売上原価	1,998,555	1,962,074
売上総利益	1,444,220	1,417,632
販売費及び一般管理費	1,288,125	1,271,214
営業利益	156,095	146,418
営業外収益		
為替差益	40,484	18,216
受取手数料	—	12,505
その他	23,735	1,620
営業外収益合計	64,220	32,343
営業外費用		
支払利息	19,361	23,049
その他	4,001	1,922
営業外費用合計	23,363	24,971
経常利益	196,952	153,789
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	24
特別利益合計	—	24
特別損失		
固定資産除却損	24	5,468
固定資産売却損	27	—
投資有価証券評価損	404	0
特別損失合計	456	5,468
税金等調整前四半期純利益	196,495	148,344
法人税、住民税及び事業税	97,993	56,379
法人税等調整額	△49,835	△2,630
法人税等合計	48,157	53,749
少数株主利益	8,529	8,189
四半期純利益	139,808	86,406

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年4月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	196,495	148,344
減価償却費	46,733	39,728
のれん償却額	2,627	2,665
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,481	△30,263
賞与引当金の増減額(△は減少)	63,898	63,678
退職給付引当金の増減額(△は減少)	225	△80
支払利息	19,361	23,049
為替差損益(△は益)	△9,154	△6,719
売上債権の増減額(△は増加)	△994,971	△846,941
たな卸資産の増減額(△は増加)	△320,717	△369,530
その他の資産の増減額(△は増加)	50,408	△121,152
仕入債務の増減額(△は減少)	678,748	1,037,444
その他の負債の増減額(△は減少)	207,419	187,643
その他	△34,954	11,776
小計	△90,397	139,644
利息及び配当金の受取額	379	138
利息の支払額	△20,808	△24,304
法人税等の支払額	△79,721	△285,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	△190,547	△170,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,979	△49,947
無形固定資産の取得による支出	△2,686	△5,869
投資有価証券の取得による支出	△17,520	△88
短期貸付金の回収による収入	34,139	19,749
その他	2,239	△20,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,808	△56,650
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	306,828	183,376
短期借入金の返済による支出	△305,403	△85,370
長期借入れによる収入	500,061	964,953
長期借入金の返済による支出	△306,027	△293,698
配当金の支払額	△76,320	△118,719
その他	△245	△919
財務活動によるキャッシュ・フロー	118,893	649,621
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,830	1,725
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△73,633	424,268
現金及び現金同等物の期首残高	1,386,677	1,563,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,313,044	1,987,791

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。